

A large rectangular area with a blue sky and white clouds background. The text "まいにち AEON CARD" is centered in white.

まいにち  
AEON  
CARD

第25期 2005.2.21～2005.8.20

中間事業報告書



イオンクレジットサービス株式会社

# おかげさまで当中間期も 増収増益を達成することができました

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
第25期中間事業報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に対し心より感謝申し上げます。

## 当中間期の業績

当中間期は、公共料金分野でのカード決済促進や、ポイント制度の拡充など、カード稼働率の向上に取り組むとともに、新規提携カードの発行や、提携先店舗やインターネットでの会員募集強化に継続して取り組みました。国内外の連結子会社におきましては、国内で展開する保険代理店事業、サービサー事業、小口ローン事業の各分野において事業領域の拡大に取り組むとともに、香港、タイにおいて新たな提携カード発行や新規事業の推進を行うなど、順調に業容を拡大させることができました。

これらの結果、当中間期の連結業績、単独業績ともに、会社設立以来の最高益を更新し、増収増益を継続することができました。

## 通期の見通し

当社の属するクレジットカード業界は、公共料金・医療・交通をはじめとする現金市場でのカード決済の浸透や、携帯電話・非接触ICカードによる小額決済市場の開拓など、ビジネスチャンスが一層広がっております。

このような環境の中で当社は、新たな特典・サービスの提供や、カード発行プロセスの刷新による質的転換を図り、クレジットカード事業の一層の拡大に取り組んでまいります。また、保険代理店事業、サービサー事業をはじめとするクレジット周辺事業の強化や、新たな金融サービスの開発に取り組み、新規事業の育成に継続して取り組んでまいります。

代表取締役社長  
森 美樹

2006年2月期 中間決算ハイライト (単位:百万円)

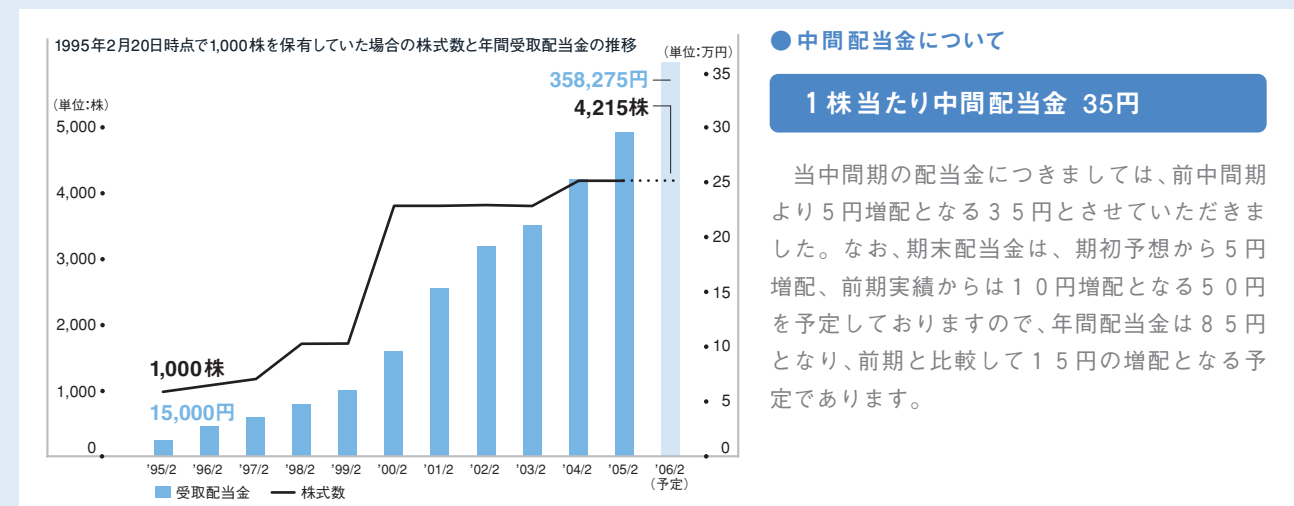
	連結		単独	
	当中間期	前年同期比	当中間期	前年同期比
取扱高	1,033,309	15.3%増	921,834	14.2%増
営業収益	68,028	15.9%増	51,972	14.7%増
経常利益	16,615	14.7%増	13,472	12.4%増
中間純利益	8,568	13.1%増	7,806	13.4%増
1株当たり中間純利益	163.81円	18.93円増	149.24円	17.68円増

持続的な経済成長を続けるアジアでの事業におきましては、カード会員の拡大とクレジット周辺事業の推進に取り組むとともに、新たな国への展開を進め、事業拡大に弾みをつけてまいります。

加えて、人材育成、ブランド醸成等の経営体質強化と個人情報保護をはじめとする企業の社会的責任への対応をより一層強化してまいります。

今後とも株主の皆さまのご期待に沿えるよう、より一層のサービス向上に取り組んでいく所存でございますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2005年10月



# まいにち AEON CARD

## 新しいブランドメッセージ

晴れたり、曇ったり、空が「まいにち」違った表情を見せるように、昨日、今日、明日とお客さまの過ごす日々にも、いろいろな「まいにち」があります。カードを通じて、お客さまの新しい「まいにち」を創っていきたい、そんな思いとともに、当社の新しいブランドがスタートします。

## 蒼井優 20歳、はじめてのマイカード！

蒼井優さんを起用した新CMを放映しています。  
20歳になった蒼井優さんが初めて持つカードがイオンカードという「宣言編」の他、「ブティック編」、「ネットショッピング編」等、蒼井優さんがどのようにCMで、「まいにち AEON CARD」を利用しているかをご覧ください。



※当中間事業報告書では蒼井優さんの写真ならびにCM画像を掲載しておりましたが、肖像権等の関係により、当ホームページ上では掲載していません。

## さらなる成長にご期待ください

### お客さま満足向上に向けた取り組み

当中間期は、前期の「ときめきポイント5倍デー」に続き、カードご入会時にときめきポイント100ポイントを進呈する「ご入会ポイント」を開始し、ポイント制度の拡充に継続して取り組みました。

また、公共料金等のカード決済ご登録に応じた「登録ポイント」キャンペーンや、東京電力(株)との加盟店契約により、毎月のお支払いが発生する決済の拡大を図るとともに、交通料金、医療機関等、今後カード決済市場として成長が見込まれる分野への取り組みを強化いたしました。

これらの取り組みにより、稼働会員数は前期末より25万人増の742万人となるとともに、カードショッピング取扱高は6,000億12百万円(前年同期比19.8%増)と業界平均を大幅に上回る伸びを継続させることができました。

また、お客さまサービスの更なる向上に向け、クレジット業界で初めてとなる「自動音声応答システム」の開発に着手し、コンピューターとオペレーターが協働してお客さま対応を行う体制づくりに取り組みました。



### カード会員の拡大



新たに「イオンカフルカード」<sup>スルーウェイ</sup>、「THRU WAYカード」を発行し、それぞれイオンカードとの特典相互開放、サービスエリアでの会員募集など、新たな切り口で会員拡大に取り組みました。

この結果、当中間期末の有効会員数は1,328万人となりました。

### 国内子会社の取り組み

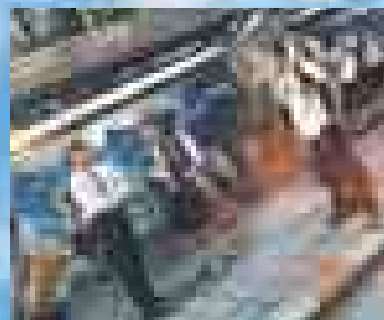
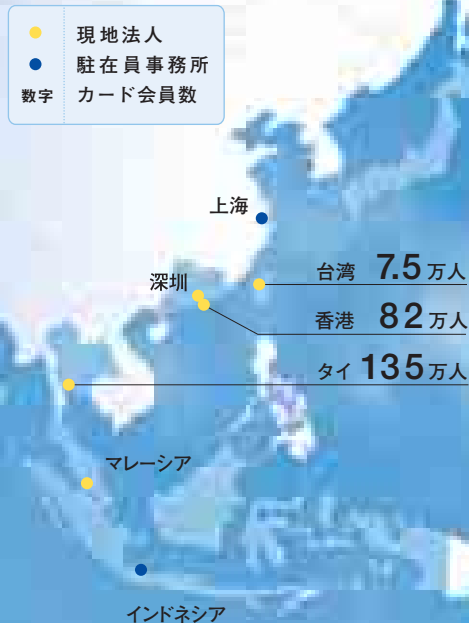
保険代理店事業を展開するエヌ・シー・エス興産(株)では、カードご利用明細書やインターネット上の「保険マーケット」を活用した無店舗販売を強化するとともに、新たにテレマーケティングによる保険販売を開始いたしました。

サービサー事業を展開するイー・シー・エス債権管理回収(株)では、新たに日本学生支援機構より正常債権の回収業務を受託し、プライマリーサービサー分野への展開を開始するとともに、社会保険庁が実施する「市場化テスト」において「国民年金保険料収納事業」を落札するなど、新たな事業分野を開拓することができました。

## アジア事業の飛躍

### 香港 —AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.—

新たに大手企業グループ・長江グループの個人向け投資会社との提携による「AMTDカード」や、大手飲食チェーンとの提携カードの発行に取り組み、カード会員数は82万人になりました。また、中国のカード決済ネットワーク「中国銀聯（チャイナユニオンペイ）」との提携により、広州地区約6万店の加盟店でカード利用が可能になりました。



### タイ —AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.—

#### —ACS INSURANCE BROKER (THAILAND) CO., LTD.—

家電展示即売会でのカード会員募集に取り組みるとともに、携帯電話販売会社や飲食チェーンの特典を共有化した「マックスカード」や、タイ国内のスポーツ施設やレストラン等で優待が受けられる「イオンクラブタイランドカード」などの新規提携カードの発行に取り組みました。

保険代理店事業では、契約保険会社数を拡大するとともに、個人傷害保険のクレジットカード決済拡大に取り組みました。

### マレーシア —AEON CREDIT SERVICE (M) SDN. BHD.—

加盟店との共同プロモーションによるハイヤーパーチェスの推進や、大手銀行との提携ローン開発などに取り組んだ結果、取扱高は、前年同期比40.1%増と大幅に拡大いたしました。

また、同国ノンバンクとして初めて、単独でのクレジットカード事業許可を正式に取得するとともに、営業拠点や優待加盟店の拡大に取り組み、カード事業の基盤を構築してまいりました。



### 台湾 —AEON CREDIT SERVICE (TAIWAN) CO., LTD.—

#### —AEON CREDIT CARD (TAIWAN) CO., LTD.—

クレジットカード事業では、新たに2種類の提携カードに加え、合計16種類のカードをラインナップし、各提携先店舗で会員募集を強化した結果、カード会員数は7.5万人になりました。

ハイヤーパーチェス事業では、加盟店ネットワークの拡大と共同企画推進に積極的に取り組みました。

### 中国 —AEON INFORMATION SERVICE (SHENZHEN) CO., LTD.—

クレジットビジネスの基幹業務となるコールセンター、債権回収、審査の各種代行業務の強化に取り組みるとともに、前期に開設した広州支店を中心に調査活動を行い、中国本土でのクレジットビジネス開始に向けた準備を進めております。

### その他のアジア各国

インドネシアのジャカルタに続き、アジアでの更なる事業拡大のため、ベトナム、フィリピンにおいて駐在員事務所の開設準備を進めております。

## 企業市民としての使命を果たします

### 社会的責任 (CSR) を果たすための取り組み

当社では、持続的な発展のためには企業の社会的責任を追求することが重要であると認識しています。その取り組みの一環としてCSR統括部を設置し、当社の社会的責任を果たす取り組みを総合的にマネジメントしています。

### 個人情報保護

個人情報の安全管理対策としては「個人情報安全管理委員会」の定期的な開催、「個人情報保護室」の設置とともに、全従業員への教育・研修を継続的に実施し、個人情報保護に対する意識の向上と規定遵守の徹底を図っております。

これらの取り組みの結果、これまでに取得した「品質ISO9001」、「プライバシーマーク」、「情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度」に加えてISMSの英国規格「BS7799」、インターネット上の個人情報の取扱いとセキュリティの規格「TRUSTe」の認証を取得いたしました。



### CSRレポートの発行

当社では2005年度よりクレジット業界で初めてCSRレポートを発行いたしました。このCSRレポートを通じて社会から求められているさまざまな責任を再確認するとともに、当社のCSRへの姿勢と現在の姿を社会に報告してまいります。



### 環境保全・社会貢献活動



当社では、「ときめきポイント」を通じて全国の自然環境保全活動への寄附活動、日本点字図書館への点字図書やテープ図書の寄贈を行っております。また、従業員によるボランティア活動を継続的に実施しております。当中間期には新たに日本ユニセフ協会を通じたスマトラ沖地震の被災者へ募金を行うとともに、24時間テレビ「愛は地球を救う」へ賛同し、従業員による街頭募金を実施いたしました。



イオン1%クラブ、イオン環境財団を通じた活動では、地域の子ども参加型のエコロジーミュージカル「天狗のかくれ里」や「愛・地球博」における「子ども環境サミット2005」に協賛いたしました。

### フィッチ・レーティングスよりプライマリーサービサー部門で日本最高位の「ABPS2+」格付け取得

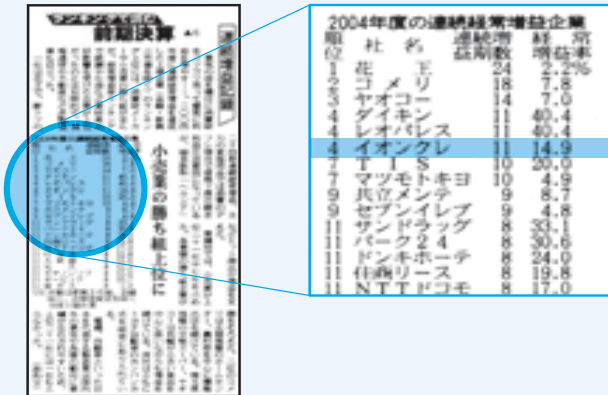
国際的な格付け機関のフィッチ・レーティングスから、当社のサービシング業務が高度に自動化され効率的なオペレーションを行っていることや、全国で着実に顧客基盤を拡大していること、財務体質が健全であることなどが評価されました。その結果、クレジット債権やローン債権のプライマリーサービシング業務における日本最高位の「ABPS2+」の格付けを取得することができました。

### 英国FTSE社より「FTSE4Good Index」に選定

英国FTSE社より、当社の環境保全活動、株主との良好な関係、世界的な人権保護に向けた活動が評価され、同社が選定する世界的に有力なSRI Index (社会的責任投資の投資推奨指数)「FTSE4Good Index」に選定されました。



※ FTSE社について  
英国の金融新聞「フィナンシャルタイムズ」とロンドン証券取引所の合弁会社で、1995年に設立されました。インデックスの作成、管理の世界大手で、FTSE社の各種指数は世界各地の投資家による投資分析、業績評価などさまざまな用途に使用されています。

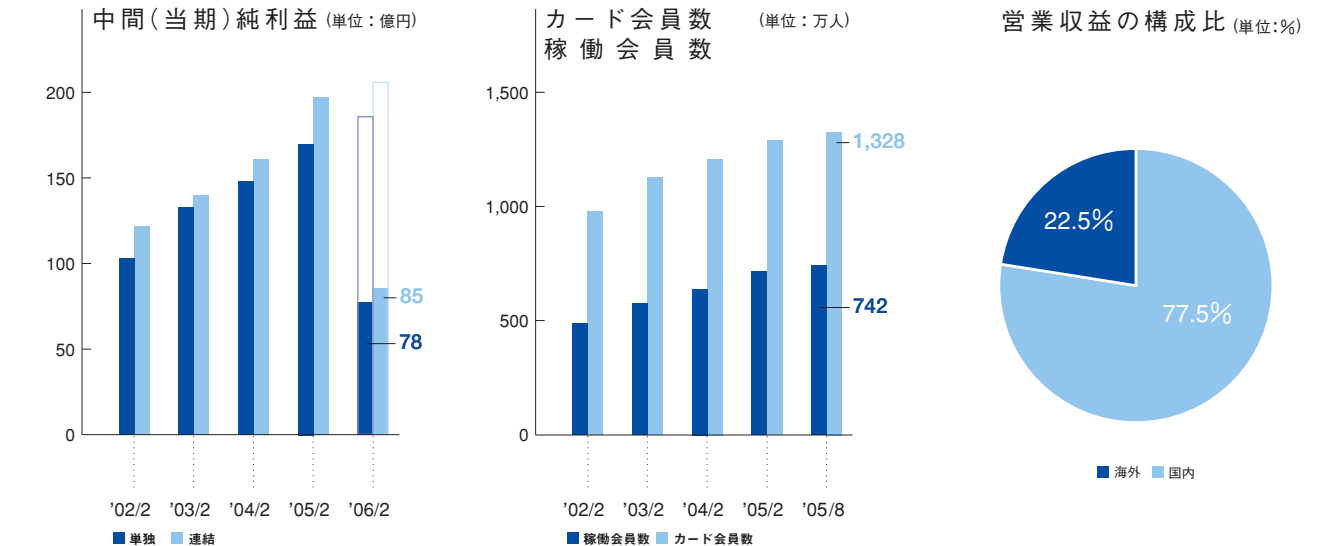
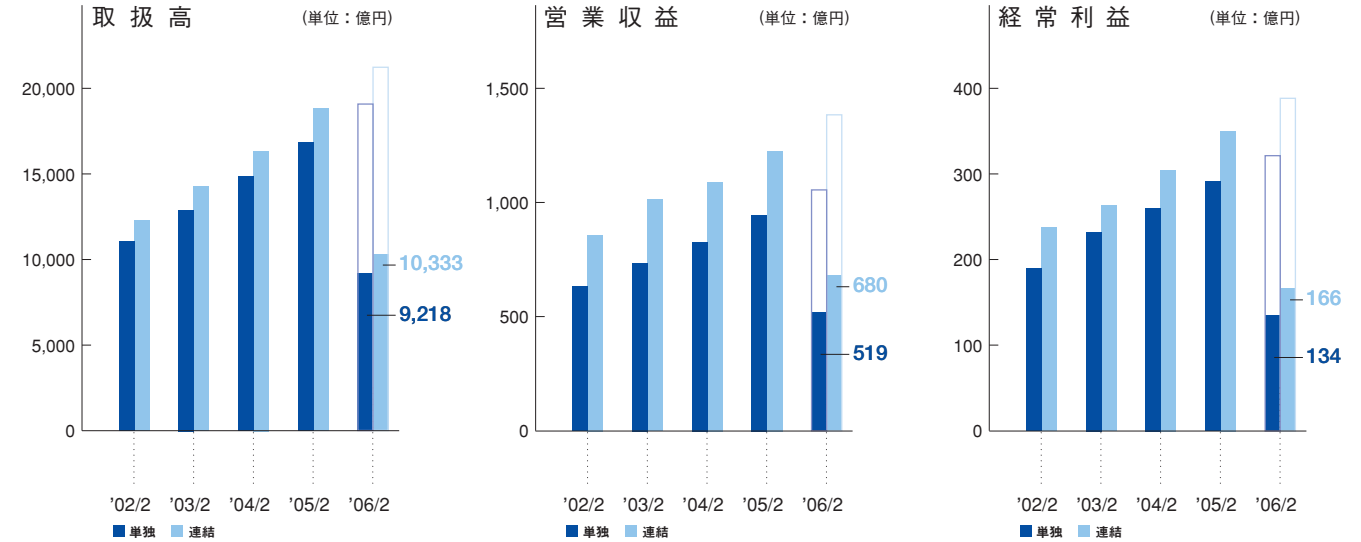


2005年6月16日  
日本経済新聞朝刊

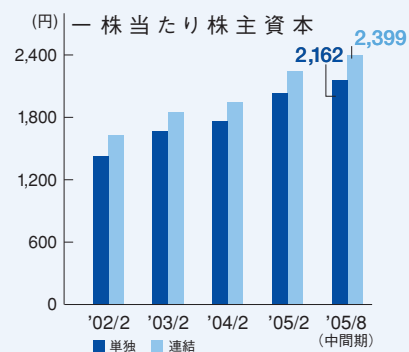
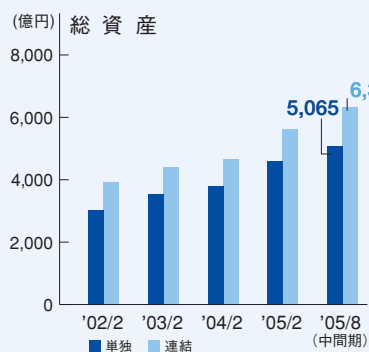
### 日本経済新聞社「連続経常増益企業ランキング」第4位

2004年度に連続経常増益を達成した上場企業のランキングが2005年6月16日の日本経済新聞朝刊で発表され、おかげさまで、当社はランキングの第4位になりました。

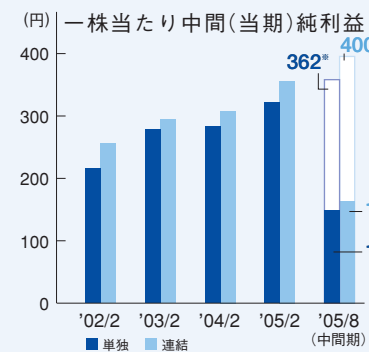
今後も株主の皆さまのご期待に応えられるよう、積極的な営業活動に取り組み、増収増益の継続を目指してまいります。



	前期 (2005年2月20日現在)	当中間期 (2005年8月20日現在)	増減		前期 (2005年2月20日現在)	当中間期 (2005年8月20日現在)	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>539,219</b>	<b>606,335</b>	<b>67,116</b>	<b>流動負債</b>	<b>138,035</b>	<b>149,594</b>	<b>11,559</b>
現金及び預金	16,688	17,964	1,275	買掛金	43,175	50,621	7,445
割賦売掛金	158,008	188,952	30,943	短期借入金	18,589	23,406	4,817
営業貸付金	355,041	390,956	35,914	1年以内返済予定の長期借入金	51,637	46,355	△ 5,282
その他	29,830	34,078	4,248	1年以内償還予定の社債	2,750	—	△ 2,750
貸倒引当金	△ 20,349	△ 25,616	△ 5,267	コマーシャル・ペーパー	—	6,500	6,500
				その他	21,882	22,712	829
<b>固定資産</b>	<b>22,874</b>	<b>26,131</b>	<b>3,256</b>	<b>固定負債</b>	<b>294,711</b>	<b>344,500</b>	<b>49,788</b>
有形固定資産	5,404	5,721	317	社債	60,000	83,537	23,537
無形固定資産	4,801	5,421	620	長期借入金	232,806	258,400	25,593
投資その他の資産	12,669	14,988	2,319	その他	1,904	2,562	657
				<b>負債合計</b>	<b>432,746</b>	<b>494,094</b>	<b>61,348</b>
<b>資産合計</b>	<b>562,094</b>	<b>632,466</b>	<b>70,372</b>	少数株主持分			
				少数株主持分	11,867	12,848	981
				<b>資本の部</b>			
				資本金	15,466	15,466	—
				資本剰余金	17,049	17,050	1
				利益剰余金	82,692	89,111	6,418
				その他有価証券評価差額金	3,414	4,627	1,213
				為替換算調整勘定	△ 1,066	△ 653	413
				自己株式	△ 76	△ 79	△ 3
				<b>資本合計</b>	<b>117,480</b>	<b>125,523</b>	<b>8,043</b>
				<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>562,094</b>	<b>632,466</b>	<b>70,372</b>



	前中間期 (2004年2月21日から 2004年8月20日まで)	当中間期 (2005年2月21日から 2005年8月20日まで)	前年同期比 (%)
<b>営業収益</b>	<b>58,682</b>	<b>68,028</b>	<b>115.9</b>
総合あっせん収益	11,808	14,597	123.6
個品あっせん収益	2,812	3,894	138.5
融資収益	40,507	46,291	114.3
融資代行収益	1,414	1,244	88.0
その他収益	2,139	2,001	93.5
<b>営業費用</b>	<b>44,287</b>	<b>51,460</b>	<b>116.2</b>
<b>営業利益</b>	<b>14,395</b>	<b>16,568</b>	<b>115.1</b>
<b>営業外収益</b>	<b>151</b>	<b>156</b>	<b>103.1</b>
<b>営業外費用</b>	<b>60</b>	<b>109</b>	<b>181.2</b>
<b>経常利益</b>	<b>14,486</b>	<b>16,615</b>	<b>114.7</b>
<b>特別利益</b>	<b>—</b>	<b>101</b>	<b>—</b>
<b>特別損失</b>	<b>146</b>	<b>838</b>	<b>572.3</b>
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>14,339</b>	<b>15,878</b>	<b>110.7</b>
法人税等	5,710	6,131	107.4
少数株主利益	1,051	1,179	112.2
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>7,578</b>	<b>8,568</b>	<b>113.1</b>



	前中間期 (2004年2月21日から 2004年8月20日まで)	当中間期 (2005年2月21日から 2005年8月20日まで)	前期 (2004年2月21日から 2005年2月20日まで)
<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高	17,046	17,049	17,046
資本剰余金増加高	1	1	2
自己株式処分差益	1	1	2
資本剰余金中間期末(期末)残高	17,048	17,050	17,049
<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高	67,463	82,692	67,463
利益剰余金増加高	7,578	8,568	18,683
中間(当期)純利益	7,578	8,568	18,683
利益剰余金減少高	1,885	2,149	3,454
配当金	1,830	2,092	3,400
役員賞与	54	57	54
利益剰余金中間期末(期末)残高	73,156	89,111	82,692

	前中間期 (2004年2月21日から 2004年8月20日まで)	当中間期 (2005年2月21日から 2005年8月20日まで)	前期 (2004年2月21日から 2005年2月20日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,005	△ 38,640	△ 68,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,374	△ 3,940	△ 5,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,730	43,845	75,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 47	11	△ 16
現金及び現金同等物の増加額	1,303	1,276	765
現金及び現金同等物の期首残高	15,919	16,685	15,919
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	17,223	17,961	16,685



資産の部	前期 (2005年2月20日現在)	当中間期 (2005年8月20日現在)	増減	負債の部	前期 (2005年2月20日現在)	当中間期 (2005年8月20日現在)	増減
<b>流動資産</b>	<b>436,767</b>	<b>481,768</b>	<b>45,001</b>	<b>流動負債</b>	<b>101,641</b>	<b>110,559</b>	<b>8,917</b>
現金及び預金	12,500	13,907	1,406	買掛金	40,272	48,024	7,751
割賦売掛金	117,145	140,680	23,534	短期借入金	2,502	1,244	△ 1,258
営業貸付金	298,064	320,189	22,125	1年以内返済予定の長期借入金	41,200	37,000	△ 4,200
前払費用	722	794	71	コマーシャル・ペーパー	—	6,500	6,500
繰延税金資産	5,008	7,245	2,236	その他	17,666	17,791	124
未収入金	6,507	6,935	427	<b>固定負債</b>	<b>250,827</b>	<b>282,859</b>	<b>32,032</b>
未収収益	3,701	4,050	349	社債	60,000	80,000	20,000
その他	9,328	8,847	△ 480	長期借入金	189,300	200,800	11,500
貸倒引当金	△ 16,211	△ 20,881	△ 4,670	その他	1,527	2,059	532
<b>固定資産</b>	<b>22,030</b>	<b>24,768</b>	<b>2,738</b>	<b>負債合計</b>	<b>352,469</b>	<b>393,419</b>	<b>40,950</b>
有形固定資産	2,715	3,026	311	<b>資本の部</b>			
無形固定資産	3,344	3,904	559	<b>資本金</b>	<b>15,466</b>	<b>15,466</b>	<b>—</b>
投資その他の資産	15,970	17,837	1,867	資本剰余金	17,049	17,050	1
<b>資産合計</b>	<b>458,797</b>	<b>506,537</b>	<b>47,740</b>	利益剰余金	70,628	76,294	5,665
				其他有価証券評価差額金	3,259	4,386	1,126
				自己株式	△ 76	△ 79	△ 3
				<b>資本合計</b>	<b>106,328</b>	<b>113,117</b>	<b>6,789</b>
				<b>負債及び資本合計</b>	<b>458,797</b>	<b>506,537</b>	<b>47,740</b>

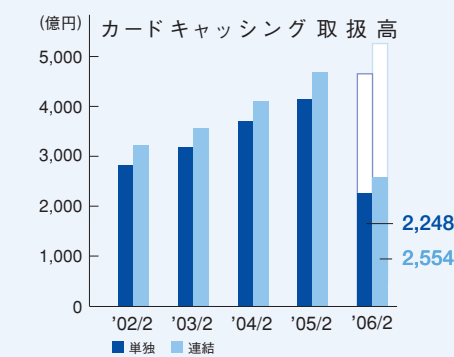
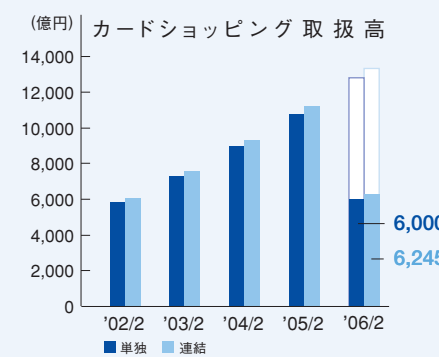
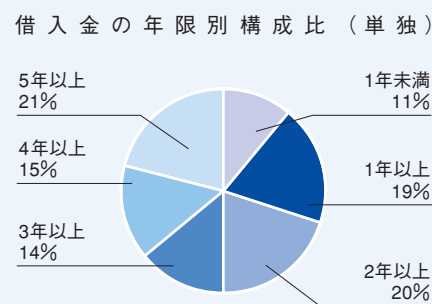
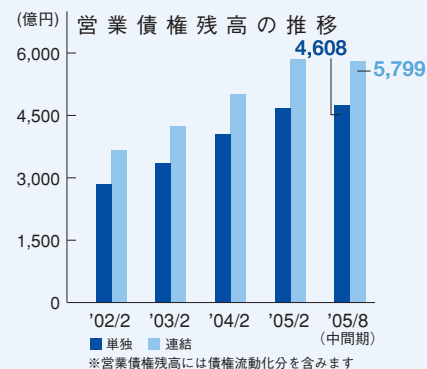
	前中間期 (2004年2月21日から 2004年8月20日まで)	当中間期 (2005年2月21日から 2005年8月20日まで)	前年同期比(%)
<b>営業収益</b>	<b>45,299</b>	<b>51,972</b>	<b>114.7</b>
カードショッピング収益	10,280	12,667	123.2
融資収益	32,511	37,191	114.4
融資代行収益	1,419	1,250	88.1
その他収益	1,088	862	79.2
<b>営業費用</b>	<b>33,780</b>	<b>39,011</b>	<b>115.5</b>
<b>営業利益</b>	<b>11,519</b>	<b>12,960</b>	<b>112.5</b>
<b>営業外収益</b>	<b>516</b>	<b>611</b>	<b>118.4</b>
<b>営業外費用</b>	<b>46</b>	<b>99</b>	<b>213.1</b>
<b>経常利益</b>	<b>11,988</b>	<b>13,472</b>	<b>112.4</b>
特別利益	—	101	—
特別損失	146	520	355.2
<b>税引前中間(当期)純利益</b>	<b>11,842</b>	<b>13,054</b>	<b>110.2</b>
法人税等	4,960	5,247	105.8
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>6,881</b>	<b>7,806</b>	<b>113.4</b>
前期繰越利益	11,539	12,775	110.7
中間(当期)未処分利益	18,421	20,561	111.6

**中間単独損益計算書の概要**

**営業収益**  
519億72百万円(前年同期比14.7%増)

**カードショッピング収益**  
126億67百万円(前年同期比23.2%増)  
公共料金決済会員の拡大や、ポイント制度の拡充に継続して取り組んだ結果、過去1年間にカードをご利用いただいた会員数を前期末より25万人増の742万人に増加させることができました。この結果、カードショッピング取扱高を前年同期比19.8%増の6,000億12百万円に拡大させることができました。

**融資収益**  
371億91百万円(前年同期比14.4%増)  
カード会員数を順調に増加させるとともに、充実したCD・ATMネットワークの活用により、カードキャッシング取扱高を前年同期比11.6%増の2,248億5百万円と増加させることができました。



(2005年8月20日現在)

■ 商号	イオンクレジットサービス株式会社
■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:8570)
■ 本店	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
■ 電話番号	(03)5281-2030(代表)
■ URL	<a href="http://www.aeoncredit.co.jp/">http://www.aeoncredit.co.jp/</a>
■ 設立	1981年6月20日
■ 資本金	154億6,650万円
■ 従業員数	3,437人(連結)812人(単独)

(2005年5月12日現在)

■ 取締役および監査役	
代表取締役社長	森 美 樹
専務取締役	神谷和秀
常務取締役	斉藤達也
常務取締役	清永崇司
取締役	河田和彦
取締役	上山政道
取締役	近藤安彦
取締役	高野清昭
取締役	葛西謙
取締役	山田義隆
取締役	古谷寛
常勤監査役	谷内寿照
監査役	木村洋一
監査役	杉原弘泰
監査役	人見信男

(2005年8月20日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	180,000,000株	
■ 発行済株式総数	52,322,336株	
■ 株主数	6,104名	
■ 大株主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	23,604	45.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,940	7.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,526	6.74
マックスバリュ西日本株式会社	882	1.69
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	779	1.49
ドレスナー・クラインオート・ワッサーズ・証券会社 東京支店	771	1.47
ミニストップ株式会社	763	1.46
インベスターズ バンク	662	1.27
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	653	1.25
野村證券株式会社	625	1.20

株主メモ

- 決算期 毎年2月20日
- 定時株主総会 毎年5月20日までに実施
- 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部
- お問い合わせ先 〒135-8722  
郵便物送付先 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社  
証券代行部  
電話(03)5213-5213(代表)
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社  
全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店
- 1単元の株式の数 100株
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 決算公告のホームページのご案内  
当社の決算公告は、第22期より日本経済新聞による決算公告に代えて、  
貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ  
(<http://www.aeoncredit.co.jp/>)に掲載することといたしましたので、  
こちらをご覧ください。

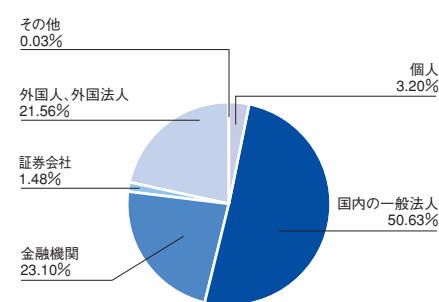
ホームページのご案内 <http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/>

「会社情報・IR情報」のホームページでは、最新のニュースリリースやカード取扱高の月次情報等をタイムリーに掲載するとともに、各種財務諸表や、当社の業績を一目でご理解いただけるよう財務データのハイライトを設けております。

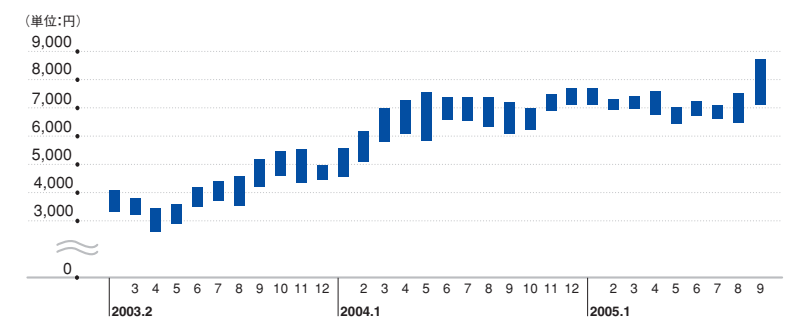
これからも、株主の皆さまに当社の経営活動へのご理解をより深めていただけるよう、ホームページでの情報開示に積極的に取り組んでまいります。



■ 所有者別株式数の構成比




■ 株価推移





# イオンクレジットサービス株式会社

 木を植えています  
私たちはイオンです

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

 PRINTED WITH  
**SOYINK**  
植物性大豆油インキを使用しています。

**TRUSTE**

お問い合わせセンター  
  
A660002(02)



JQA-IM0178



JQA-IS0077



JQA-EM1689



JQA-QM7708